



新型コロナウイルスについて

筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター
総合病院 水戸協同病院

感染症科 加藤 幹朗

司会者：新型コロナウイルスとは一体何ですか？

加藤：私たちにいわゆる風邪，または気道感染症を引き起こすウイルスは実は1種類では無くても何種類もいるのですが，その中の1つにコロナウイルスという名前のウイルスがあります。人に気道感染症を引き起こすコロナウイルスとして，今まで6種類のコロナウイルスが知られていたのですが，2019年12月以降に中国から全世界へ広がった，現時点でも更に広がりつつある気道感染症の原因を調べてみますと，今まで全く知られていなかった新種のコロナウイルスが原因である事が分かり，第7番目の未知のコロナウイルスとして新型コロナウイルスと名付けられています。

司会者：世界へ広がっているとの事ですが，日本ではどれくらい広がっているのでしょうか？

加藤：厚生労働省の発表によりますと，日本では3月28日の時点で総感染者数が1,500人を超えています。このうち北海道，愛知県，東京都，大阪府は100例を越えているところ，茨城県は*例にとどまっていますが，今後も注意が必要と考えます。

司会者：では新型コロナウイルスは，どの様にして人にうつるのでしょうか？

加藤：基本的には，既にウイルスに感染している人と濃厚に接する事で感染するとされています。具体的には，咳などの症状がある人へ2メートル以内近づく事で，ウイルスが鼻やノドにくっついて感染します。

司会者：ウイルスを貰わないためには，どの様な対策をすれば良いのでしょうか？

加藤：まずは手洗いです。手洗いは感染を予防するために最も重要な手段の1つですので，こまめに手を洗ってください。石鹸と水で最低20秒間，水が無い場合には濃度60%以上のアルコール消毒液でこまめに手を消毒してください。重要な事ですが，不潔な手で自分の目や鼻，口を触らない事が肝心です。

司会者：では、マスクはした方が良いでしょうか？

加藤：マスクは咳などの症状のある人が、しぶきが飛ぶのを防ぐ、つまりウイルスを他の人へうつすのを防ぐ目的で使います。でも反対に、他の人から貰わない様にする目的では、込み合った屋内ですとか、換気が不十分な場所でも無い限り、効果は限定的とされています。

ですので、マスクは咳などの症状がある人、もしくは症状のある人と狭い距離で接さざるを得ない人に使用を勧めています。

司会者：咳があるのにマスクが手に入らない時には、どうしたら良いでしょうか？

加藤：咳エチケットを行ってください。

司会者：咳エチケットとは一体何なのでしょう？

加藤：咳エチケットとは、ウイルスを他の人にうつさないために、咳やくしゃみをする際にハンカチとかタオルを使って、しぶきの飛び散りを防ぐ事です。ちなみに、手のひらは汚染するといけませんので使わないでください。手元に何も場合には、手のひらではなくて、腕を使ってしぶきを防いでください。

司会者：それでは、屋外では無く屋内、例えば自宅でできる事はありますか？

加藤：定期的に換気をしてください。そして身の回りの物を家庭用洗剤、もしくは薄めた漂白剤で拭いた後に水拭きをして、こまめに消毒してください。

司会者：他にできる対策はありますか？

加藤：まだ新型コロナウイルスを防ぐ効果的なワクチンがございませんので、感染を防ぐにはとにかくウイルスと接する機会を減らすしかありません。御自身の身を守るために不要不急の外出は控え、体調の悪そうな人には近づかないようにしてください。

司会者：もし今後、新型コロナウイルスにかかってしまったとしたら、どのような症状が出るのでしょうか？

加藤：熱や咳のみといった軽い症状から重度の肺炎に至るまで非常に幅があります。今のところ、ウイルスにかかってから2日から2週間程度で症状が出てくると考えられています。

司会者：この新型ウイルスは、どの程度危険なのでしょう？

加藤：残念ながら現時点ではまだはっきりした事はわかっていません。ただ可能性として、御年寄や持病があるなど、体の弱った方は重症になりやすいのではないかと推測されていて注意が必要です。

司会者：妊娠中の方はどうでしょうか？

加藤：あまりデータが無いのですが、他の方と同じように人ごみを避けて、手洗いをしっかりと行う必要があります。

司会者：熱が出てしまった場合には、どこへ相談すれば良いのでしょうか？

加藤：新型コロナウイルスに関する相談、心配な症状が出た時の対応や、どこの病院を受診したら良いかなどに関しては、厚生労働省、もしくは各都道府県に電話相談窓口が設置されていますので、まずはそちらへ御相談ください。茨城県では、帰国者・接触者相談センターとして県庁内の専用電話が24時間対応可能です。また保健所も時間内であれば対応可能ですので御確認ください。

司会者：電話相談の目安となる症状はありますか？

加藤：まず、風邪の症状や37度5分以上のお熱が4日以上続いている方、もしくは、強いだるさや息苦しさのある方は、お住まい近くの帰国者・接触者相談センターへ御相談ください。ただ、御高齢の方や元々持病をお持ちの方は決して無理をせず、症状が2日程度続いた時点で、御相談ください。

司会者：全く症状は無いのですが、ただ何となく心配なのでコロナの検査をする事はできますでしょうか？

加藤：症状が無ければ検査の対象とはなりません。もし咳やお熱などが出てきて更に何かリスクとして思い当たる節がある場合には、帰国者・接触者相談センターへお問い合わせください。

司会者：この新型コロナウイルス、こういった治療方法があるのでしょうか？

加藤：今のところ効果が証明された治療はありません。ですので、お熱がある人には解熱薬、咳がある人には咳止めといった、症状を和らげる治療が主になってきます。ただし、他の病気を合併してしまったりした場合には、その病気に対して個別の治療を受ける必要があります。

司会者：何か、確認しておいた方が良い役に立つ情報はありますか？

加藤：厚生労働省や茨城県感染症情報センターが毎日、ホームページ上で情報を更新していますため、各ホームページを御確認ください。

司会者：最後に、この新型コロナウイルスについて一言お願いします。

加藤：まだ新型コロナウイルスに関しては分かっていない事も多いです。

まずは感染をもらわない様にするため、こまめな手洗いと周囲の消毒を心がけ、不要不

急の外出，特に狭い屋内で不特定多数と長い時間を一緒に過ごす状況は避けてください。
また，咳などの症状がある人は，他の人へうつさない様にマスクをつけ，人との接触をできるだけ避けてください。もしも症状が重くて新型コロナウイルスにかかったかも，と思われた方は，電話で帰国者・接触者相談センターへお問い合わせください。

令和2年4月21日（火），29日（水）放送

